

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		有明生コン(株)グループ統一の経営方針である「品質の高いコンクリートを提供し、従業員を含めた地域社会全体が満足できる、持続的開発可能な企業を目指す」を社内に掲示								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		社長を中心とした社内コンプライアンス委員会等で、随時、法令順守に対する考え方を共有。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		熊本県コンクリート製品協同組合、および九州ボックスカルバート協同組合熊本支部に所属し、中小企業組合法に準じた協同販売組合内で適切かつ合法に競争している。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		現時点ではSDGsに対する取組活動は社長直轄組織として、製造部長、営業部長、総務係をアサインして実施中。将来的には、独立部署を設立するか検討中。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		自社製品のうち、知的財産権を主張すべき案件に関しては、意匠権1件およびNETIS(国交省新技術)登録1件を実施。その一方で、必要に応じ自社開発製品の知財情報を熊本県コンクリート製品協同組合に提供し、組合製品化(製品名: NKベンチ)し、組合はその功績で蒲島賞を受賞。								8.2 8.3	9									
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報の管理については、所定の場所を重要情報保管部位を設定し、そこには限られた人物しかアクセスできないよう対策を施している。																	16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		昨年度にステークホルダー(主に取引先)へ、安心・安全・公正な取引を目的に、反社会的勢力の排除に対する当社の考え方の説明を実施し、当社の考えに関する同意書を受領。継続的なフォローを今期も予定。															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5				8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●											9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	平成26年に社長交代(現社長43歳)し事業継承完了済み。									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5				8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		各種ハラスメント(パワハラ、セクハラ、モラハラetc)について、必要に応じて特命ヒアリング等を実施し、発生なきよう管理中。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		有明生コン(株)グループ内で安全指導専門員を配置しており、順次、指導員からの安全衛生推進活動の指導や巡視を実施している。指導員は他の工場も観ているため、客観的な評価と改善指導が期待できる。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		人事給与制度を見直し、属人的手当を極力廃止し、能力本位の給与体系に移行中(例:取得した資格に対して支給される、資格手当の拡充など)					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		一昨年からノー残業デーを設定し、ワークライフバランスを推進中。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		コンクリート技士、プレコン管理士、2級土木施工管理士など必要資格の受験補助を行い、資格取得を推奨。また、受験対策の社内講習会を行うことで、合格率も年々アップしている。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		健康診断等で異常があった者について、社長または医療機関等からの応援を受けて、適切に指導中。 八代商工会議所主催の新型コロナワクチン職域接種を実施。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		原則、中途採用枠には「年齢制限」を設けず採用活動を実施している。またシルバー人材センターと協力し、高齢者には軽微な仕事を担当してもらっている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウィルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	ウェブ会議室を設置し、熊本県コンクリート製品協同組合の会議、社内会議ほかに利用中。またVPNアクセスポイントを設置し、テレワークについても対応。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	工場内にWiFiアクセスポイントを設置し、専用タブレット端末から会社のインフラにアクセス可能(生産・出荷の入力が可能)。また在庫については、営業担当者のスマートフォンよりインターネット経由で確認が可能。								8	9.1		11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4					8	9			12					

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		産業廃棄物の処理については、適切な中間処理業者に委託。 廃棄物低減(再利用)のため、またセメント中に含まれる有毒物(六価クロム)溶出低減のため、フライアッシュコンクリートを採用。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		営業車について、一部にハイブリッド車を導入し、燃費向上を実現済み。 また本年度は、事務所のエアコンを更新し、省エネ型に切り替えた。 自社のエネルギー使用量の把握は来年6月までに実施予定(それにと もない重油ボイラーの更新時期を検討)							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでい る。	●		営業車にハイブリッド車を導入、排ガスを低減。「フライアッシュコンク リート」を使用し製品製造工程におけるセメント起因のCO2を5%低 減。工場屋根に太陽光パネルを設置し、火力発電起因のCO2を低減。 自社CO2発生量の把握は来年6月に実施予定(重油ボイラーをバイオ マスボイラーに更新するかを検討)		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないよう に配慮している。	●		工場排水について、排水中和槽を設置し、排出先(八代海)の環境配慮 を実施。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		フライアッシュコンクリートを使用することで、資源再利用を実施中。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		工場排水について、排水中和槽を設置し、質の保全に取組中。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グ リーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		全製品に、フライアッシュコンクリートまたは高炉スラグ配合コンクリ ートを採用している(フライアッシュコンクリート製品の一部についてはリ サイクルマークを表示)									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可 能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを 推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚 染の防止削減に貢献している。		●	製品製造に用いるプラスチックスペーサの一部に再生プラスチック製 品を採用。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車 などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	社用車については、随時エコカー(ハイブリッド等)へ変更中(現在1台 がハイブリッド車に転換済み)									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組 んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		JIS工場/マル適マーク工場/大臣認定工場 として、適切な品質管理を行っている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		自転車走行時の安全性に配慮した緩傾斜(2%)勾配管渠側溝を他社に先駆けて製品化し、NETIS(国交省新技術)登録済み。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	フライアッシュは苓北産(九州電力苓北火力発電所)を使用し、産業廃棄物の地産地消を実施。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	激甚災害が多発する中、緊急工事等に使用されるプレキャストコンクリート製品の在庫量を瞬時に把握できるよう、在庫管理システムを強化済み(平成28年ものづくり補助金にて対応)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●	熊本県の各地域振興局と連携し、農業用土木製品(大規模ビニールハウス用基礎ブロック、農業用水トラフ、農業廃水トラフほか)を開発し、熊本県の農業立国を協力にアシスト		2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		八代商工会議所の新型コロナワクチン職域接種実施へ協力。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		ハザードマップを社内に掲示するとともに、台風・大雨洪水等の警報発令時に休業・自宅待機命令を出す基準を策定。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	九州コンクリート製品協会の一員として、九州地方整備局との間に防災協定を締結済み。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	当社ボックスカルバート、中型積ブロック、環境保全型ブロック(大型積ブロック)、その他管渠側溝類は、防災関連商品として県内各所で採用されている。									9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	昨年、一昨年と八代工業高校からのインターンシップ受け入れを実施。今年も実施予定。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	若者応援企業宣言を実施。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	関連会社に農業生産法人である 株式会社 有明ファーム(玉名市) があり、その新規農園開設時に協力を実施(令和2年開所)		2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17